

長 崎 県 救 急 医 療 の 概 要

長 崎 県

長崎県メディカルコントロール協議会

【はじめに】

平成15年3月、救急業務を円滑に実施するため、県、消防機関及び救急医療機関の代表者で構成する長崎県メディカルコントロール協議会が設置され、同協議会において、救急隊員が救急現場やその現場から医療機関へ搬送するまでの間に行った傷病者への処置を検証するための検証票が作成されました。

また、併せて搬送した傷病者の1週間後の傷病名や状況（入院中、退院、転院、死亡など、以下「転帰」という。）を返信票（個人情報保護の観点から傷病者名は記入されておりません。）で回収することとし、その結果を解析のうえ、今後の救急医療政策に反映させることとしております。

今回、平成16年度に回収した平成16年4月から12月までの検証票約3万件について、救急医療に携わる医師の方々に分析していただき、その結果を取りまとめましたので、長崎県全体や地域ごとの違いをご覧ください。なお、返信票を回収できた件数を今回の「総搬送件数」としてしますので、ご注意ください。

【解析にご協力いただいた先生】（ は責任者、50音順、敬称略）

井上 健一郎 井上病院院長
草野 栄郷 長崎済生会病院 循環器科部長
高山 隼人 国立病院機構長崎医療センター 救命救急センター医長
辻田 俊也 長崎百合野病院 麻酔科部長
中道 親昭 上対馬病院 副院長
橋本 孝来 はしもとクリニック院長

【県全体救急搬送に関して】

総搬送件数 29,238 件の中で、外来のみで帰宅した傷病者数（軽症）は 30.6%、1週間以内に退院した傷病者数（中等症）は 18.0%、1週間目に入院中の傷病者数は 36.8%、外来にて死亡した傷病者は 1.7%、1週間以内に死亡した傷病者数は 2.8%、高次病院（高度の医療施設とスタッフを備えた病院）への転院は 2.9%であった。不幸にして亡くなられた傷病者は 4.5%で、約 20 名に 1 名となっていた。

また、軽症（外来のみ）の方が全体の 3 割を占めていた。

	外来のみ	入院中	退院	高次転院	その他転院	外来死亡	入院死亡	不明
搬送数	8947	10763	5261	846	848	486	829	1258
構成比	30.60	36.81	17.99	2.89	2.90	1.66	2.84	4.30

発生曜日では、金曜日が 14.9%と一番多く、火曜日が 13.6%と一番少ないが、全体としては、ほぼ均等に発生していた。

搬送数	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜	不明
29238	4274	3981	4072	4044	4349	4076	4075	367
構成比	14.62	13.62	13.93	13.83	14.87	13.94	13.94	1.26

【疾患群別の状況】

1. 脳疾患群

消防本部	搬送数	外来のみ	入院中	退院	高次転院	その他転院	外来死亡	入院死亡	不明
長崎	779	133	373	139	30	43	4	37	20
佐世保	1136	210	552	212	38	21	12	45	46
平戸	156	24	63	32	19	10	0	6	2
松浦	242	31	103	50	33	4	2	9	10
県央	870	157	415	137	32	52	8	49	20
島原	422	64	229	46	37	10	5	8	23
五島	148	24	70	7	28	2	1	8	8
新上五島	99	5	36	26	24	0	0	8	0
壱岐	109	20	54	8	15	3	1	7	1
対馬	148	20	52	38	15	2	4	16	1
県全体	4109	688	1947	695	271	147	37	193	131

脳疾患群の搬送件数は4,109件で、総搬送件数の14.0%と疾患群では最も多い比率を占めていた。このうち、脳卒中は約半分の2,100件あまりであった。搬送後の転帰は外来のみで帰宅された人が16.7%、1週間以内に退院された人が16.9%、1週間以上の入院となった人が47.4%でした。また、高度な治療を受けるために転院した人が6.6%であり、不幸にして亡くなられた人は5.6%であった。

曜日別にみると、金曜日が17%、月曜日が16%と多いのに対し、日曜日は12%と少ない傾向であった。

2. 循環器疾患群

消防本部	搬送数	外来のみ	入院中	退院	高次転院	その他転院	外来死亡	入院死亡	不明
長崎	697	97	341	122	25	24	37	35	16
佐世保	749	120	341	124	29	12	66	33	24
平戸	101	12	47	18	8	2	6	3	5
松浦	116	12	54	21	13	1	7	8	0
県央	518	83	223	98	18	18	32	34	12
島原	256	54	106	24	9	4	26	16	17
五島	113	26	42	15	5	2	13	3	7
新上五島	51	5	16	7	12	0	2	7	2
壱岐	83	24	23	21	6	0	6	3	0
対馬	108	15	40	21	4	3	11	13	1
県計	2792	448	1233	471	129	66	206	155	84

循環器疾患群の搬送件数は 2,792 件で、総搬送件数の 9.5% を占める。地域別搬送件数に対しては、平戸地区 13%、他地区は 8.4-11.1% であり地域差はなかった。

転帰は、外来のみが 16.0%、1 週間目入院中は 44.2%、1 週間以内退院は 16.9% で、他の内因性疾患と差はなく、外来死亡率は 7.4% で他の内因性疾患より高率であった。入院死亡率は 5.6% で他の内因性疾患と差はないが、離島（新上五島、対馬）は 12-13% と高い。高次病院への転院率は 4.6% で、脳疾患（6%）とともに内因性疾患では高率であった。

各地区別では都市部（長崎、佐世保、県央、島原、五島）は 3-4%、本土地方（平戸、松浦）7-10%、離島は上五島 23.5%、壱岐 7.2%、対馬 3.7% と地域特性が伺える。

曜日ごとの搬送数では、14.5%（金曜）から 12.2%（日曜日）の範囲で、曜日による搬送数には大きな変動はみられない。急性心筋梗塞（AMI）は週末（金土）に、大動脈解離は週中日（水、木、金）に多い傾向にある。狭心症は曜日に差はなかった。

3. 呼吸器疾患群

消防本部	搬送数	外来のみ	入院中	退院	高次 転院	その他 転院	外来 死亡	入院 死亡	不明
長崎	635	115	339	104	4	9	4	44	16
佐世保	681	97	395	105	3	8	13	43	17
平戸	62	10	31	8	4	1	2	3	3
松浦	61	14	31	9	3	0	0	4	0
県央	457	78	234	82	7	14	4	28	10
島原	245	34	125	45	2	10	4	11	14
五島	85	15	44	17	0	1	1	4	3
新上五島	28	0	18	7	1	0	0	2	0
壱岐	71	6	42	16	1	1	0	5	0
対馬	87	11	54	10	0	0	2	8	2
県計	2412	380	1313	403	25	44	30	152	65

長崎県全体で 2,412 件の搬送があり、総搬送件数の 8.2% であった。全体の 57%、1,382 人が 1 週間後も入院中または転院。全体の 7%、182 人が死亡していた。外来のみ帰宅は 16%、380 人。退院は 17%、403 人であった。入院治療者が多い傾向にある。

地域別に関して特に転帰の傾向に差はなかった。

4. 消化器疾患群

消防本部	搬送数	外来のみ	入院中	退院	高次 転院	その他 転院	外来 死亡	入院 死亡	不明
長崎	703	171	282	177	15	13	1	33	11
佐世保	856	193	420	144	12	13	5	40	29
平戸	63	9	29	15	3	2	0	4	1
松浦	112	26	45	27	5	4	0	3	2
県央	629	128	259	143	21	25	6	36	11
島原	381	65	198	64	5	8	4	14	23
五島	122	32	58	19	4	3	0	4	2
新上五島	53	4	28	12	4	1	0	2	2
壱岐	76	15	34	8	9	4	0	6	0
対馬	77	20	29	20	2	0	1	4	1
県計	3072	663	1382	629	80	73	17	146	82

消化器疾患は 3,072 件で、このうち 663 件（22％）は外来のみの軽症で、1 週間以内に退院したのは 629 件（21％）、1 週間目入院中が 1,382 件（45％）、高次病院への転院が 80 件（2.6％）であった。1 週間以内の死亡例は 163 件（5％）で、このうち外来死亡は 17 件、入院後 1 週間以内の死亡は 146 件であった。

3,072 件のうち手術を要したのは 276 件（9％）、手術にもかかわらず死亡したのは 8 件（手術例の 3％）であった。

曜日別に見ると消化器疾患の搬送は月曜、日曜に多い傾向がみられた。

5. 外傷・骨折に関して

【外傷】

消防本部	搬送数	外来のみ	入院中	退院	高次 転院	その他 転院	外来 死亡	入院 死亡	不明
長崎	356	184	90	48	5	13	3	0	13
佐世保	316	171	59	36	10	14	6	9	11
平戸	59	26	9	16	6	2	0	0	0
松浦	42	11	15	6	3	3	2	1	1
県央	535	248	136	92	8	26	3	7	15
島原	112	50	20	17	4	7	6	1	7
五島	25	11	9	3	2	0	0	0	0
新上五島	30	11	9	5	3	1	0	1	0
壱岐	57	37	11	5	2	1	0	0	1
対馬	67	31	15	11	2	0	2	2	4
県計	1599	780	373	239	45	67	22	21	52

【骨折】

消防本部	搬送数	外来のみ	入院中	退院	高次 転院	その他 転院	外来 死亡	入院 死亡	不明
長崎	584	65	399	50	18	36	0	0	16
佐世保	677	87	432	60	31	57	0	1	9
平戸	61	4	27	9	13	7	0	0	1
松浦	110	9	74	5	16	5	0	0	1
県央	477	48	305	49	18	39	1	1	16
島原	324	40	222	9	21	9	1	2	20
五島	118	8	91	7	5	5	0	0	2
新上五島	39	6	28	4	1	0	0	0	0
壱岐	82	12	54	3	7	5	0	0	1
対馬	73	9	46	3	2	11	0	0	2
県計	2545	288	1678	199	132	174	2	4	68

外傷・骨折の傷病者の搬送件数は 4,144 件で、総搬送件数の 14.2%であった。このうち、外来のみで帰宅した傷病者数（軽症）は 25.8%、1 週間以内に退院した傷病者数（中等症）は 10.6%、1 週間目に入院中の傷病者数は 49.5%、外来にて死亡した傷病者は 0.6%、1 週間以内に死亡した傷病者数は 0.6%、高次病院などへの転院は 10.1%であった。

診断別に転帰をみると、軽症の割合が最も多いのは骨盤、大腿骨頸部骨折を除く骨折で 16.4%。同様に中等症では外傷性頭蓋内出血 14.3%、1 週間目に入院では大腿骨頸部骨折 81.2%、転院では脊髄損傷 23.6%、死亡では重症多発外傷 35.7%が各転帰において最も割合が高い診断となっている。

曜日別にみると、最も多い曜日は月曜日 15.7%、次いで金曜日 15.1%、最も少ない曜日は日曜日 12.5%、次いで土曜日 13.1%であった。

【主な疾患に関して】

1. 脳内出血に関して

消防本部	搬送数	外来			高次 転院	その他 転院	外来 死亡	入院 死亡	不明
		のみ	入院中	退院					
長崎	122	2	79	4	12	13	0	10	2
佐世保	158	1	106	5	14	4	2	18	8
平戸	15	0	5	0	7	2	0	0	1
松浦	23	0	5	2	12	0	2	2	0
県央	138	1	100	2	11	7	1	14	2
島原	63	0	52	0	6	0	2	2	1
五島	26	1	9	0	14	1	1	0	0
新上五島	18	0	7	0	10	0	0	1	0
壱岐	20	0	11	0	5	1	0	3	0
対馬	13	0	5	0	5	0	0	3	0
県計	596	5	379	13	96	28	8	53	14

脳内出血は 596 件と脳卒中の約 1/4 を占めていたが、大半の人が入院治療を受けている。このうち、16%の人が高度な治療を受けるために転院していた。また、約 10%の人が搬送後 1 週間以内に亡くなっていた。

曜日別にみると最も多いのが金曜日で 17%、少ないのが日曜日で 11%であった。

2. くも膜下出血に関して

消防本部	搬送数	外来			高次 転院	その他 転院	外来 死亡	入院 死亡	不明
		のみ	入院中	退院					
長崎	46	1	21	1	10	1	2	10	0
佐世保	74	0	40	4	8	3	8	10	1
平戸	14	0	6	0	7	0	0	1	0
松浦	20	0	9	0	9	0	0	2	0
県央	94	1	55	3	6	4	5	17	3
島原	27	0	12	0	9	1	2	2	1
五島	16	0	3	1	11	0	0	1	0
新上五島	8	0	0	0	6	0	0	2	0
壱岐	5	0	0	0	3	0	1	1	0
対馬	10	0	0	0	6	0	1	3	0
県計	314	2	146	9	75	9	19	49	5

くも膜下出血は 314 件と、脳卒中の中では最も少ないが、高度な治療を受けるために転院した人が 24%、亡くなった人が 22%と重症な人が多いことが特徴である。

曜日別にみると最も多いのが金曜日の 19%で、他の曜日はあまり差がなかった。

3. 脳梗塞に関して

消防本部	搬送数	外来のみ	入院中	退院	高次転院	その他転院	外来死亡	入院死亡	不明
長崎	250	16	169	36	3	10	2	13	1
佐世保	323	13	238	28	6	8	0	14	16
平戸	40	0	27	2	3	5	0	3	0
松浦	49	0	34	5	4	0	0	2	4
県央	237	7	164	20	6	20	1	16	3
島原	145	8	105	10	8	4	1	3	6
五島	59	1	42	2	1	0	0	7	6
新上五島	21	0	15	1	1	0	0	4	0
壱岐	34	0	26	1	2	1	0	3	1
対馬	43	1	24	6	1	0	2	8	1
県計	1201	46	844	111	35	48	6	73	38

脳梗塞は脳卒中の中で最も多く 1,201 件と半分以上を占めていた。しかし、脳出血やくも膜下出血と比べると、高度な治療を受けるために転院した人や亡くなった人の数はやや少なくそれぞれ 3%と 7%であった。

曜日による差はあまりなく、それぞれの曜日で 12%から 16%であった。

4. 急性心筋梗塞に関して

消防本部	搬送数	外来のみ	入院中	退院	高次転院	その他転院	外来死亡	入院死亡	不明
長崎	182	12	116	9	9	8	13	12	3
佐世保	133	1	80	1	8	3	27	11	2
平戸	16	0	8	0	3	1	1	1	2
松浦	28	0	16	2	5	0	3	2	0
県央	109	0	49	18	7	3	16	14	2
島原	40	3	18	1	5	0	8	5	0
五島	15	0	6	2	2	0	5	0	0
新上五島	8	0	3	0	3	0	0	1	1
壱岐	6	0	4	0	0	0	1	1	0
対馬	23		6	1	1	1	6	8	0
県計	560	16	306	34	43	16	80	55	10

急性心筋梗塞は、死亡率（24%）入院率（54%）ともに高く、重症疾患であることが伺える。急性心筋梗塞については、地区別では長崎が外来死亡率（7.1%）入院死亡率（6.6%）ともに最低であった。

死亡率は 10%台 {長崎（13.7%）平戸（12.5%）松浦（17.8%）新上五島（12.5%）}、20 - 30%台 {佐世保（28.5%）県央（27.4%）島原（32.5%）五島（33.3%）壱岐（33.2%）} と、対馬（60.7%）の3群に分かれる。長崎は受け入れ施設の充実で、高次病院への転院率の高い平戸（18.8%）松浦（17.9%）新上五島（37.5%）地区は救急転送により対応したものである。

佐世保、島原、県央地区の外来死亡率は20% - 14%で、入院死亡率は8 - 12%であった。対馬は、外来死亡26%、入院死亡34%と高く、さらに高次病院への転院率（4.4%）は平戸、松浦、新上五島に比べて極端に低い。

5. 狭心症に関して

消防本部	搬送数	外来			高次 転院	その他 転院	外来 死亡	入院 死亡	不明
		のみ	入院中	退院					
長崎	112	24	39	38	4	4	0	1	2
佐世保	77	16	28	25	4	1	0	0	3
平戸	14	2	3	6	2	0	0	1	0
松浦	15	1	7	5	2	0	0	0	0
県央	66	13	27	18	5	2	0	0	1
島原	24	7	8	6	0	0	0	0	3
五島	9	2	2	3	0	1	0	0	1
新上五島	14	2	1	3	7	0	0	0	1
壱岐	11	4	1	4	2	0	0	0	0
対馬	19	5	6	5	2	1	0	0	0
県計	361	76	122	113	28	9	0	2	11

狭心症は、死亡率（外来0%、入院0.6%）が低い。入院率は20 - 40%で地域差は少ない。高次病院への転院率は7.7%と急性心筋梗塞と同様な値で、平戸（14.2%）松浦（13.3%）新上五島（50%）壱岐（18.1%）が高く、対馬は10.5%と低い。虚血性心疾患は長崎、佐世保地区での入院率が高い傾向（60 - 63%）にあった。

6. 急性大動脈解離に関して

消防本部	搬送数	外来			高次 転院	その他 転院	外来 死亡	入院 死亡	不明
		のみ	入院中	退院					
長崎	27	3	11	0	4	2	4	2	1
佐世保	42	2	21	2	4	0	10	1	2
平戸	5	0	1	0	2	0	1	0	1
松浦	5	0	1	1	3	0	0	0	0
県央	23	1	10	4	0	1	5	2	0
島原	14	1	6	0	2	0	4	1	0
五島	5	0	1	1	1	0	1	0	1
新上五島	4	0	0	0	2	0	0	2	0
対馬	2	0	0	1	0	0	1	0	0
県計	127	7	51	9	18	3	26	8	5

大動脈疾患は、死亡率 26%、入院率 40%と高く、重症疾患である。大動脈疾患は長崎、佐世保、県央、島原に集中しており、対応可能な施設への搬送が行われていると思われるが、外来死亡率 20%、入院死亡率 6%で外来死亡率が高い。

7. 気管支喘息に関して

消防本部	搬送数	外来			高次 転院	その他 転院	外来 死亡	入院 死亡	不明
		のみ	入院中	退院					
長崎	57	18	15	22	0	0	0	1	1
佐世保	62	18	22	21	0	0	1	0	0
平戸	9	2	2	2	1	0	1	1	0
松浦	3	1	0	2	0	0	0	0	0
県央	35	11	5	17	0	0	1	1	0
島原	19	7	5	4	0	0	0	1	2
五島	6	3	1	1	0	0	0	0	1
新上五島	4		3	1	0	0	0	0	0
壱岐	5	2	1	2	0	0	0	0	0
対馬	5	3	1	1	0	0	0	0	0
県計	205	65	55	73	1	0	3	4	4

長崎県全体で 205 件の搬送があり、総搬送件数の 0.7%であった。外来治療のみが 32%と多く入院中・転院は 27%。外来死亡 1%、入院死亡 2%と少数ながら死亡者もみられた。地域別に特異な傾向はみられない。

県全体、地域別とも特定曜日に多い傾向はなかった。

8. 肺炎に関して

消防本部	搬送数	外来の			高次 転院	その他 転院	外来 死亡	入院 死亡	不明
		み	入院中	退院					
長崎	281	5	210	34	1	4	1	19	7
佐世保	324	8	249	27	1	5	1	24	9
平戸	24	0	19	1	0	0	0	2	2
松浦	27	1	20	4	0	0	0	2	0
県央	191	6	132	26	3	8	2	11	3
島原	106	6	72	16	2	4	0	4	2
五島	30	1	22	4	0	1	0	2	0
新上五島	9	0	6	2	0	0	0	1	0
壱岐	35	0	23	7	0	1	0	4	0
対馬	35	1	26	2	0	0	0	6	0
県計	1062	28	779	123	7	23	4	75	23

長崎県全体で 1,062 件の搬送があり、総搬送件数の 3.6%であった。気管支喘息とは逆に外来治療のみは 3%しかなく、入院中・転院で 76%を占め、治療期間が長期にわたることが示唆される。入院時死亡も 7%と多い。地域別に特異な傾向はみられない。

県全体、地域別とも日曜日に搬送数が少なく月曜日にやや多い。多くの医療機関が日曜は救急外来のみのため、月曜まで受診を遅らせているのかもしれない。

9. 慢性閉塞性肺疾患の急性増悪に関して

消防本部	搬送数	外来			高次 転院	その他 転院	外来 死亡	入院 死亡	不明
		のみ	入院中	退院					
長崎	27	2	21	1	1	0	0	0	2
佐世保	28	1	18	3	0	0	2	2	2
平戸	3	1	2	0	0	0	0	0	0
松浦	4	0	2	0	1	0	0	1	0
県央	29	1	16	6	1		1	2	2
島原	15	0	8	3	0	1	0	3	0
五島	9	1	4	4	0	0	0	0	0
新上五島	1	0	1	0	0	0	0	0	0
壱岐	2	0	1	1	0	0	0	0	0
対馬	10	0	9	0	0	0	0	0	1
県計	128	6	82	18	3	1	3	8	7

長崎県全体で 128 件の搬送があり、総搬送件数の 0.4%であった。肺炎と同じように外来治療のみは 5%と少ない。入院中・転院が 68%を占め、これも治療期間が長期にわたることを示唆している。入院時死亡も 6%と肺炎と同じような傾向を示している。なお、地域別に特異な傾向はみられない。

また、県全体、地域別とも特定曜日に多い傾向はなかった。

10. 消化管出血に関して

消防本部	搬送数	外来			高次 転院	その他 転院	外来 死亡	入院 死亡	不明
		のみ	入院中	退院					
長崎	88	4	51	24	1	1	1	6	0
佐世保	143	7	97	15	2	4	2	12	4
平戸	5	0	2	0	2	0	0	1	0
松浦	14	1	8	3	1	0	0	0	1
県央	114	3	64	23	7	7	2	6	2
島原	51	2	31	11	1	2	1	1	2
五島	13	0	10	2	1	0	0	0	0
新上五島	6	0	4	1	0	1	0	0	0
壱岐	15	0	12	1	1	1	0	0	0
対馬	14	0	10	2	1	0	1	0	0
県計	463	17	289	82	17	16	7	26	9

消化管出血による搬送件数は 463 件で、消化器疾患の 15.1%であった。このうち、289 件 (62.4%) が 1 週間後も入院中であった。また、17 件 (3.7%) が高次病院へ転院していた。出血による外来死亡は 7 件 (1.5%)、1 週間以内の死亡は 26 件 (5.6%) で、あわせると消化管出血 463 件中 33 件 (7.1%) であった。一方、手術が行われた 25 件では、搬送 1 週間以内死亡例はなかった。

曜日別には火曜日が 81 件搬送され、最も多かった。

11. 穿孔性腹膜炎に関して

消防本部	搬送数	外来			高次 転院	その他 転院	外来 死亡	入院 死亡	不明
		のみ	入院中	退院					
長崎	18	0	10	3	1	0	0	4	0
佐世保	41	0	29	6	3	0	0	2	1
平戸	2	0	2	0	0	0	0	0	0
松浦	8	0	5	0	2	1	0	0	0
県央	30	0	18	4	2	3	0	3	0
島原	9	0	6	0	0	0	0	2	1
五島	5	1	3	0	1	0	0	0	0
新上五島	3	0	2	0	0	0	0	1	0
壱岐	2	0	1	0	1	0	0	0	0
対馬	2	0	1	0	0	0	0	1	0
県計	120	1	77	13	10	4	0	13	2

消化管に穴があいて内容物がお腹の中に漏れる穿孔性腹膜炎は 120 件で、消化器疾患全体の 3.9%であった。77 件(64%)が 1 週間後も入院中で、また、高次病院への転院は 10 件(8.3%)であった。1 週間以内の死亡は 13 件(10.8%)であった。手術が行われたのは 83 件(69.2%)、手術後の死亡（搬送 1 週間以内）は 7 件(8.4%)であった。

曜日別には、月曜日、火曜日の搬送が多い傾向にあった。

12. 精神科疾患に関して

消防本部	搬送数	外来のみ	入院中	退院	高次 転院	その他 転院	外来 死亡	入院 死亡	不明
長崎	129	54	42	24	1	4	0	0	4
佐世保	128	57	25	33	1	9	0	0	3
平戸	12	4	0	5	1	0	0	0	2
松浦	19	5	7	6	0	1	0	0	0
県央	125	60	16	27	3	16	0	0	3
島原	48	23	10	7	0	1	0	0	7
五島	32	16	11	3	1	1	0	0	0
新上五島	10	2	3	5	0	0	0	0	0
壱岐	10	8	0	2	0	0	0	0	0
対馬	48	25	16	5	1	0	0	0	1
県計	561	254	130	117	8	32	0	0	20

搬送件数は 561 件で、総搬送件数の 1.9%であった。搬送後の転帰に死亡例はなく、高次病院への転院が 8 件であった。1 週間以上の入院は 130 件、23.2%であった。外来のみが 45.3%、1 週間以内の退院が 20.9%であった。精神疾患関係は軽症症例が多かった。

搬送曜日は、金曜日 17.8%、月曜日 16.0%の順が多かった。

13. 産婦人科疾患に関して

消防本部	搬送数	外来			高次 転院	その他 転院	外来 死亡	入院 死亡	不明
		のみ	入院中	退院					
長崎	82	9	40	30	2	1	0	0	0
佐世保	102	14	32	44	2	2	0	0	8
平戸	3	0	1	1	1	0	0	0	0
松浦	11	2	4	4	1	0	0	0	0
県央	110	11	53	37	2	3	0	0	4
島原	44	3	25	11	1	2	0	0	2
五島	8	1	1	6	0	0	0	0	0
新上五島	6	1	1	1	3	0	0	0	0
壱岐	4	0	2	2	0	0	0	0	0
対馬	5	1	0	4	0	0	0	0	0
県計	375	42	159	140	12	8	0	0	14

搬送件数は375件で、総搬送件数の1.3%であった。1週間以内の死亡はなく、高次病院への転院が3.2%であった。1週間以上の入院が42.4%、外来のみ11.2%、1週間以内の退院が37.3%であった。

発生曜日で多かったのは木曜日17.9%、火曜日16.5%、金曜日15.7%で、少なかったのは日曜日9.1%であった。

14. 外傷性頭蓋内出血に関して

消防本部	搬送数	外来			高次 転院	その他 転院	外来 死亡	入院 死亡	不明
		のみ	入院中	退院					
長崎	68		44	15	4	3	1	0	1
佐世保	59	1	28	7	7	4	5	6	1
平戸	2	0	0	0	2	0	0	0	0
松浦	9	0	4	2	1	0	2	0	0
県央	82	4	58	7	2	5	1	5	0
島原	19	1	9	3	2	1	2	0	1
五島	5	0	2	1	2	0	0	0	0
新上五島	4	0	0	1	2	0	0	1	0
壱岐	4	0	2	1	1	0	0	0	0
対馬	6	0	3	0	0	0	1	2	0
県計	258	6	150	37	23	13	12	14	3

搬送件数は258件、総搬送件数の0.9%であった。1週間内に退院した軽症例は16.6%であった。高次病院への転院は8.9%、1週間以内の入院後死亡例は5.4%、入院中が58.1%であった。

15. 心臓・大血管・肺損傷に関して

消防本部	搬送数	外来			高次 転院	その他 転院	外来 死亡	入院 死亡	不明
		のみ	入院中	退院					
長崎	20	0	18	0	0	0	2	0	0
佐世保	11	1	5	1	0	0	1	2	1
平戸	1	0	0	0	0	1	0	0	0
松浦	2	0	1	0	0	0	0	1	0
県央	16	0	4	6	2	0	1	0	3
島原	5	0	1	0	0	0	2	1	1
五島	2	0	2	0	0	0	0	0	0
新上五島	1	0	1	0	0	0	0	0	0
対馬	2	0	0	0	1	0	1	0	0
県計	60	1	32	7	3	1	7	4	5

心臓・大血管・肺損傷は 60 例と少なかった。外来のみや 1 週間以内の退院は 13.3%であった。1 週間以内の死亡は 18.3%であった。長崎、県央、佐世保地区が多かった。

16. 腹部臓器損傷に関して

消防本部	搬送数	外来			高次 転院	その他 転院	外来 死亡	入院 死亡	不明
		のみ	入院中	退院					
長崎	4	0	4	0	0	0	0	0	0
佐世保	9	1	5	0	2	0	0	0	0
平戸	3	0	2	0	1	0	0	0	0
松浦	7	0	5	0	2	0	0	0	0
県央	13	1	8	2	1	0	0	1	0
島原	2	0	1	1	0	0	0	0	0
五島	1	0	1	0	0	0	0	0	0
壱岐	2	1	0	0	1	0	0	0	0
対馬	1	1	0	0	0	0	0	0	0
県計	42	4	26	3	7	0	0	2	0

搬送件数は 42 件で、外来のみや 1 週間以内の退院は 1.6%、1 週間以内の死亡は 4.8%であった。高次病院への転院が 16.6%であった。県央地区は臓器損傷症例が多かった。

17. 骨盤骨折に関して

消防本部	搬送数	外来のみ	入院中	退院	高次 転院	その他 転院	外来 死亡	入院 死亡	不明
長崎	17	0	13	1	2	0	0	0	1
佐世保	19	1	8	3	2	5	0	0	0
平戸	2	0	2	0	0	0	0	0	0
松浦	1	0	1	0	0	0	0	0	0
県央	15	1	13	1	0	0	0	0	0
島原	4	0	4	0	0	0	0	0	0
五島	3	0	1	1	0	0	0	0	1
新上五島	2	0	2	0	0	0	0	0	0
対馬	7	0	3	0	0	3	0	0	1
県計	70	2	47	6	4	8	0	0	3

骨盤骨折の搬送件数は70件で、軽症症例は11.1%、1週間以内死亡症例は0%であった。高次病院への転院は長崎・佐世保のみであった。

18. 大腿骨頸部骨折に関して

消防本部	搬送数	外来のみ	入院中	退院	高次 転院	その他 転院	外来 死亡	入院 死亡	不明
長崎	155	0	128	5	6	10	0	0	6
佐世保	210	0	174	3	14	15	0	0	4
平戸	10	0	5	0	4	1	0	0	0
松浦	22	0	17	0	3	2	0	0	0
県央	131	1	104	6	5	12	0	1	2
島原	129	3	99	0	10	3	0	2	12
五島	48	1	41	1	1	3	0	0	1
新上五島	12	0	12	0	0	0	0	0	0
壱岐	30	0	25	0	2	2	0	0	1
対馬	16	0	15	0	0	1	0	0	0
県計	763	5	620	15	45	49	0	3	26

大腿骨頸部骨折では、外来のみと1週間以内退院が2.6%で、高次病院への転院が5.8%であった。1週間以内の死亡は、0.4%であった。

19. 重症多発外傷に関して

消防本部	搬送数	外来			高次 転院	その他 転院	外来 死亡	入院 死亡	不明
		のみ	入院中	退院					
長崎	12	2	7	0	2	0	1	0	0
佐世保	8	0	0	0	0	0	4	4	0
松浦	2	0	1	0	0	0	1	0	0
県央	10	2	5	1	0	0	0	2	0
島原	3	0	3	0	0	0	0	0	0
五島	4	0	1	0	0	0	0	2	1
壱岐	1	0	1	0	0	0	0	0	0
対馬	2	0	0	1	0	0	0	1	0
県計	42	4	18	2	2	0	6	9	1

重症多発外傷の搬送件数は42件で、総搬送件数の0.1%であった。高次病院への転院は4.7%のみで、外来死亡は14.2%と高率であった。外来死亡と1週間以内の死亡を合わせると、35.7%と高い値であった。

20. 脊髄損傷に関して

消防本部	搬送数	外来			高次 転院	その他 転院	外来 死亡	入院 死亡	不明
		のみ	入院中	退院					
長崎	9	0	4	2	1	1	1	0	0
佐世保	15	0	10	1	3	0	1	0	0
平戸	2	0	0	0	2	0	0	0	0
松浦	4	0	3	0	1	0	0	0	0
県央	9	0	6	0	1	1	1	0	0
島原	10	0	6	0	1	0	0	0	3
五島	3	0	1	0	2	0	0	0	0
新上五島	2	0	2	0	0	0	0	0	0
壱岐	1	0	1	0	0	0	0	0	0
県計	55	0	33	3	11	2	3	0	3

脊髄損傷の搬送件数は55件で、総搬送件数の0.2%であった。1週間以内の退院は5.4%で、高次病院への転院が20%と高率であった。外来死亡は5.5%であったが、入院中死亡は見られなかった。

21. 窒息に関して

消防本部	搬送数	外来のみ	入院中	退院	高次 転院	その他 転院	外来 死亡	入院 死亡	不明
長崎	12	2	0	1	0	0	8	1	0
佐世保	12	2	2	0	0	0	5	1	2
平戸	5	2	1	1	0	0	0	1	0
松浦	1	0	0	0	0	0	1	0	0
県央	11	2	1	1	0	1	4	2	0
島原	6	1	0	0	0	1	4	0	0
五島	1	1	0	0	0	0	0	0	0
新上五島	2	1	0	0	0	0	1	0	0
壱岐	3	0	1	0	0	0	2	0	0
対馬	2	0	0	2	0	0	0	0	0
県計	55	11	5	5	0	2	25	5	2

搬送件数は55件で、総搬送件数の0.2%であった。外来死亡や1週間以内の死亡が30件で54.6%であった。外来のみ受診件数が11件(20.0%)で、高次病院への転院は0件であった。窒息は外来のみの軽症か、1週間以内に死亡する症例の2極化していた。

発生曜日に関しては、金曜日8件、土曜日9件、日曜日11件、月曜日10件となっており、週半ばが少ない傾向にあった。

22. 熱傷に関して

消防本部	搬送数	外来のみ	入院中	退院	高次 転院	その他 転院	外来 死亡	入院 死亡	不明
長崎	6	4	2	0	0	0	0	0	0
佐世保	24	10	5	5	1	1	0	2	0
松浦	5	1	2	0	1	1	0	0	0
県央	10	1	5	3	1	0	0	0	0
島原	10	3	4	1	0	0	0	2	0
五島	1	1	0	0	0	0	0	0	0
壱岐	3	0	2	0	1	0	0	0	0
対馬	2	0	1	1	0	0	0	0	0
県計	61	20	21	10	4	2	0	4	0

搬送件数は61件で、総搬送件数の0.2%であった。高次病院への転院が4件で、1週間以内の死亡が4件であった。外来のみや1週間以内に退院した件数は30件で49.2%であった。

発生曜日では、月曜日、火曜日、土曜日が多かった。

23. 溺水に関して

消防本部	搬送数	外来のみ	入院中	退院	高次 転院	その他 転院	外来 死亡	入院 死亡	不明
長崎	11	1	1	3	1	0	5	0	0
佐世保	15	0	3	3	0	1	6	1	1
平戸	5	1	1	0	0	0	0	2	1
松浦	4	1	0	1	1	0	1	0	0
県央	8	0	1	0	0	1	2	4	0
島原	4	0	2	0	0	0	2	0	0
五島	10	4	1	3	0	0	2	0	0
新上五島	2	0	0	0	0	0	2	0	0
壱岐	6	1	0	0	0	1	4	0	0
対馬	6	0	0	1	0	0	3	1	1
県計	71	8	9	11	2	3	27	8	3

搬送件数は 71 件で、総搬送件数の 0.2%であった。窒息より搬送件数が多かった。外来のみと 1 週間以内の退院は 26.8%であった。外来死亡と 1 週間以内の死亡は 49.3%であった。

発生曜日では、日曜日、水曜日、木曜日の順で、日曜日に多く発生していた。

24. 中毒に関して

消防本部	搬送数	外来のみ	入院中	退院	高次 転院	その他 転院	外来 死亡	入院 死亡	不明
長崎	169	86	10	66	0	2	1	1	3
佐世保	155	67	12	64	2	4	0	1	5
平戸	16	7	0	7	0	1	0	0	1
松浦	17	7	0	10	0	0	0	0	0
県央	79	24	4	42	0	3	1	2	3
島原	38	8	5	17	1	2	1	0	4
五島	21	14	1	6	0	0	0	0	0
新上五島	4	1	1	2	0	0	0	0	0
壱岐	14	3	3	8	0	0	0	0	0
対馬	19	6	2	9	0	0	1	0	1
県計	532	223	38	231	3	12	4	4	17

搬送件数は 532 件で、総搬送件数の 1.8%であった。搬送後の経過は、外来のみと 1 週間以内の退院が 85.3%を占めていた。重症で高次病院への転院や外来死亡、1 週間以内死亡が 2.1%であった。

発生曜日に関しては、日曜日、月曜日、土曜日の順であったが、曜日ごとの差はあまりなかった。